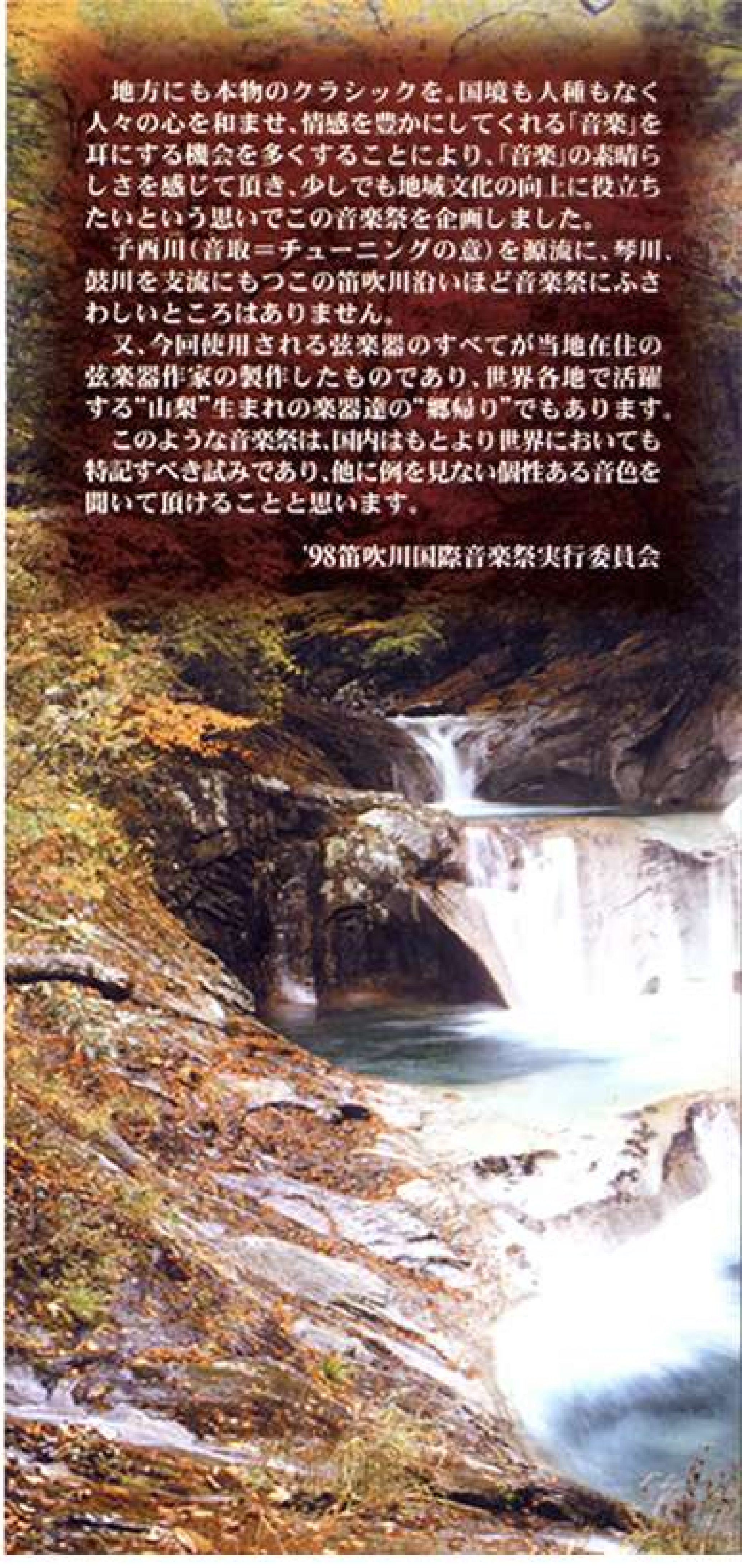
'98笛吹川国際音楽祭



地方にも本物のクラシックを。国境も人種もなく人々の心を和ませ、情感を豊かにしてくれる「音楽」を耳にする機会を多くすることにより、「音楽」の素晴らしさを感じて頂き、少しでも地域文化の向上に役立ちたいという思いでこの音楽祭を企画しました。

子酉川（音取＝チューニングの意）を源流に、琴川、鼓川を支流にもつこの笛吹川沿いほど音楽祭にふさわしいところはありません。

又、今回使用される弦楽器のすべてが当地在住の弦楽器作家の製作したものであり、世界各地で活躍する"山梨"生まれの楽器達の"郷帰り"でもあります。

このような音楽祭は、国内はもとより世界においても特記すべき試みであり、他に例を見ない個性ある音色を聞いて頂けることと思います。

'98笛吹川国際音楽祭実行委員会

FUEFUKIGAWA FESTIVAL OF MUSIC '98

10/14 (Wed.) Fuefukigawa Fruit Park 7:00p.m.

Mozart : Symphony Concertante (St.Sextet) 2nd Mov.
Schönberg : Verklärte Nacht Op.4
Brahms : String Sextet No.1 B♭-major Op.18
Vn : Koenraad Ellegiers, Maria Aya Ashley
Va : Karlheinz Steeb, Sayaka Kusama
Vc : Ulrike Schäfer, Josef Karlíček

10/17 (Sat.) Makioka Chominbunka Hall 6:30p.m.

Schumann : Piano Quintet E♭-major Op.44
Brahms : Piano Quintet F-minor Op.34
Vn : Charles Castleman, Koenraad Ellegiers
Va : Toby Hoffman Vc : Nathaniel Rosen P : Kyoko Hashimoto

10/18 (Sun.) Makioka Chominbunka Hall 6:00p.m.

Beethoven : Trio for Violin,Violoncello and Piano No.5 D-major Op.70-7
Vn : Young-Mi Cho Vc : Young-Chang Cho P : Young-Bang Cho

Schumann : Piano Quartet E♭-major Op.47
Vn : Young-Mi Cho Va : Karlheinz Steeb Vc : Ulrike Schäfer
P : Young-Bang Cho

Klengel : 4 Pieces for 4 Cellos Op.33
Klengel : Cello Quartet Op.15 "Variations"
Vc : Nathaniel Rosen, Young-Chang Cho, Ulrike Schäfer, Josef Karlíček

10/21 (Wed.) Kofushi Sogoshimin Kaikan 7:00p.m.

Brahms : Trio for Viola,Violoncello and Piano A-minor Op.114
Va : Toby Hoffman Vc : Young-Chang Cho P : Kyoko Hashimoto

Tchaikovsky : String Sextet D-major Op.70 "Souvenir de Florence"
Vn : Charles Castleman, Koenraad Ellegiers
Va : Toby Hoffman, Karlheinz Steeb
Vc : Nathaniel Rosen, Ulrike Schäfer

10/14（水） 笛吹川フルーツ公園・くだもの広場 7:00p.m.

共催：山梨県公園公社

モーツァルト：協奏交響曲（弦楽六重奏版） 第２楽章
シェーンベルク：弦楽六重奏曲《浄夜》 作品４
ブラームス：弦楽六重奏曲 第１番 変ロ長調 作品18
ヴァイオリン：コンラード・エレギアス、マリア・アヤ・アシュリー
ヴィオラ：カールハインツ・シュテーブ、草間さやか
チェロ：ウルリッケ・シェーファー、ヨーゼフ・カルリーチェク

10/17（土） 牧丘町民文化ホール 6:30p.m.

共催：牧丘町教育委員会

シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44
ブラームス：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34
ヴァイオリン：チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス
ヴィオラ：トビー・ホフマン チェロ：ナサニエル・ローゼン
ピアノ：橋本京子

10/18（日） 牧丘町民文化ホール 6:00p.m.

共催：牧丘町教育委員会

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第５番 ニ長調 作品70-7《幽霊》
ヴァイオリン：ヤンミー・チョー チェロ：ヤンチャン・チョー
ピアノ：ヤンバン・チョー

シューマン：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47
ヴァイオリン：ヤンミー・チョー ヴィオラ：カールハインツ・シュテーブ
チェロ：ウルリッケ・シェーファー ピアノ：ヤンバン・チョー

クレンゲル：４つのチェロの為の４つの小品 作品33
クレンゲル：チェロ四重奏曲 作品15《ヴァリエーションズ》他
チェロ：ナサニエル・ローゼン、ヤンチャン・チョー
ウルリッケ・シェーファー、ヨーゼフ・カルリーチェク

10/21（水） 甲府市総合市民会館 芸術ホール 7:00p.m.

ブラームス：ヴィオラ、チェロ、ピアノの為の三重奏曲 イ短調 作品114
ヴィオラ：トビー・ホフマン チェロ：ヤンチャン・チョー ピアノ：橋本京子

チャイコフスキー：弦楽六重奏曲 ニ長調 作品70《フィレンツェの思い出》
ヴァイオリン：チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス
ヴィオラ：トビー・ホフマン、カールハインツ・シュテーブ
チェロ：ナサニエル・ローゼン、ウルリッケ・シェーファー

※出演者の都合により、曲目を変更する場合があります。

チャールズ・キャッスルマン（ヴァイオリン） **Charles Castleman**

ハーバード大学、カーティス音楽院、ペンシルヴァニア大学を卒業。その間チャイコフスキー、ブリュッセル各コンクールに入賞している。ソリストとしてはボストン、シカゴ、ニューヨーク、フィラデルフィアなどのオーケストラと協演、また室内奏者としては、新ニューヨーク弦楽トリオを経て、1975年にラファエル・トリオを結成、多くのレコーディングを行なっている。バックネル大学において、彼が設立したカルテットのマスタークラスは25周年を迎えており、「最良且つ実践的なプログラムである」（ヨーヨー・マ）、「若きカルテット奏者達のメッカ」（ガルネリ・カルテット）等の評価を得ている。イーストマン音楽院の教授として後進の指導に当たっている他、ロンドン、東京、上海でもマスタークラスを持っている。

コンラード・エレギアス（ヴァイオリン） **Koenraad Ellegiers**

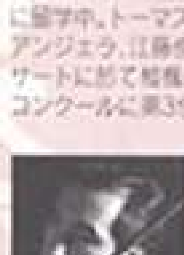
ヴァイオリニストである父親より手ほどきを受ける。その後アルトゥール・グリュミオー、ティボール・ヴァルガに師事。またシャンドール・ヴェーグ、ユーディー・メニューヒンのマスタークラスに参加し、各氏の薫陶を受ける。ソリスト及び室内奏者として、メニューヒン・グシュタード音楽祭、オーストラリア室内楽音楽祭ほか、世界各地の数多くの音楽祭より招かれている。教育者としては、イタリア、スイス、アルゼンチン、スペイン、韓国でマスタークラスを持ち、またエッセン音楽大学において長年室内楽クラスを受け持ってきた。

ヤンミー・チョー（ヴァイオリン） **Young-Mi Cho**

8歳で韓国国内コンクールで優勝。12歳でアメリカに留学し、カーティス音楽院においてアーノルド・シュタインハルトに師事。1979年にドイツに移り、ケルン音楽大学においてマックス・ロスタールに師事しコンサート・ディプロマを取得。ソリストとして、フィラデルフィア、バルティモア、ブレーメン・フィルハーモニー等々のオーケストラと協演。また妹のヤンバン、弟のヤンチャンとのピアノ・トリオでジュネーヴ、ミュンヘン両コンクールに入賞している。現在は、演奏家としての活動の他に、韓国国立芸術大学の教授として後進の指導に当たっている。

マリア・アヤ・アシュリー（ヴァイオリン） **Maria Aya Ashley**

6歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。第41回全日本学生音楽コンクール東京大会第2位。第2回ABC新人コンサート出演。安田生命の奨学金を得て、現在ベルリン芸術大学院に留学中。トーマス・ブランディス教授に師事。これまでに久合田緑、江藤アンジェラ、江藤俊哉の各氏に師事。1997年3月山梨市文化協会主催コンサートにて[illegible]と協演。同年第7回イボルカ・ギャルファス・コンクールに第3位入賞。



トビー・ホフマン（ヴィオラ） **Toby Hoffman**

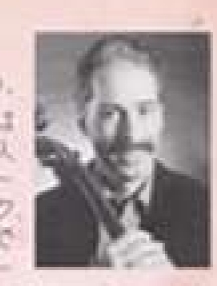
ジュリアード音楽院にてポール・ドクトルに師事。ライオネル・ターティス国際ヴィオラ・コンクールでサー・ジョン・バルビローリ賞受賞のほか幾つかの国際コンクールに入賞。ソリストとしてはフィラデルフィア管弦楽団、アメリカ室内オーケストラ、プラハ室内オーケストラ等と協演。またマールボロ、アスペン、モーストリー・モーツァルト、ザルツブルグ等の音楽祭に招待されている。室内楽奏者としてもアンドレ・プレビン、サルヴァトーレ・アッカルドとたびたび共演している。

カールハインツ・シュテーブ（ヴィオラ） **Karlheinz Steeb**

ウルリッヒ・コッホに師事。1965年ケルン放送交響楽団に入団。1968年同オーケストラのソロ・ヴィオラ奏者となり、現在に至る。ドイツを代表するオーケストラ・ソロ奏者として、同オーケストラ以外にも多くのオーケストラにゲスト・ソロ・ヴィオラ奏者として招かれている。また室内楽奏者としても、コレギウム・アウレウム合奏団、同カルテット、ムジカ・アンティクア・ケルンのメンバーとして、多くの音楽祭に出演。また数多くのレコーディングも行っている。

草間 さやか（ヴィオラ） **Sayaka Kusama**

4歳よりヴァイオリンを始め、根岸、山之内好子各氏に師事。国立音楽大学卒業。在学中より相模原管弦楽団のメンバーとなる。卒業と同時に、ヴィオラに転向。1995年よりプラハ国立音楽院に留学。スメタナ弦楽四重奏団ヴィオラ奏者、ミラン・シュカンパ氏の日本人初の弟子となる。ムラダ・プラハ国際音楽祭、チェスキー・クルムロフ国際音楽祭等において、ソリストとして出演。室内楽奏者としてもシュカンパ弦楽四重奏団、プラハ・ピアノ三重奏団と共演している。シャンドール・ヴェーグ・アカデミー参加。1996年よりコレギウム・ムジクム室内アンサンブルのメンバーとなる。



ナサニエル・ローゼン（チェロ） **Nathaniel Rosen**

ナサニエル・ローゼンのアメリカにおける名声は、1977年、ナウムブルグ・コンクールによって得られ、翌年にはアメリカ人のチェリストとしては初のチャイコフスキー・コンクール優勝（チェロ部門ではその後、アメリカ人の優勝はない）によって世界的名声を勝ち得た。それ以後、世界一流のオーケストラ（ニューヨーク・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニック、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス等）にソリストとして招かれている。6歳でチェロを始めたローゼンは6年後、伝説的なチェロ奏者ピアティゴルスキーに出会い、弟子となる。それは師が亡くなる1976年まで続いた。その間、ピアティゴルスキーはもとより、ヤッシャ・ハイフェッツとも数多く共演している。演奏家としてはもとより、教育者としても活動し、イリノイ大学を経て現在マンハッタン音楽院において後進の指導に当たっている。

ヤンチャン・チョー（チェロ） **Young-Chang Cho**

デヴィット・ソイヤー、ローレンス・レッサー、ジークフリート・パルム、ムスチスラフ・ロストロポーヴィッチに師事。ロストロポーヴィッチ、パブロ・カザルス、ミュンヘンの各コンクールに入賞。また二人の姉妹（ヤンミー・チョー、ヤンバン・チョー）とのピアノ・トリオでも、ジュネーブ、ミュンヘン両コンクールに入賞している。ソリストとして、ロストロポーヴィッチ指揮のワシントン・ナショナル交響楽団のほか、NHK交響楽団、ソフィア・フィルハーモニー等々のオーケストラと協演。1987年よりエッセン音楽大学教授として後進の指導に当たっている。

ウルリッケ・シェーファー（チェロ） **Ulrike Schäfer**

クルト・エングルト、ルドルフ・メツマヒャー、ウィリアム・プリースに師事。ドイツ国内外の数多くのコンクールに入賞（1970年、72年、74年西ドイツ学生コンクール、1980年パブロ・カザルス・コンクール、1982年チャイコフスキー・コンクール、1982年ARDコンクール等）。また、ジャクリーヌ・デュプレ、ナタリア・シャホスカヤ、ムスチスラフ・ロストロポーヴィッチのマスタークラスに参加。現在、ケルンのギュルツェニッヒ管弦楽団（ケルン歌劇場管弦楽団）の首席チェリストをつとめる傍ら、ソロ、室内楽に幅広く活躍。

ヨーゼフ・カルリーチェク（チェロ） **Josef Karlíček**

ドイツ国境に接したチェコの町ヘブで生まれる。ピルゼン音楽院を首席で卒業後、プラハ音楽院でヤン・パレニチェクに師事。ソロ及び室内楽をシャンドール・ヴェーグ・アカデミーにおいて、ダニール・シャフラン、モーリス・ブルグ、イダ・レーヴィン、アレクサンダー・ランクィッチ、橋本京子の各氏に師事。1995年、ボフスラフ・マルティヌー協会より特別賞を受賞。同年、プラハ芸術放送局特別賞受賞。アメリカ、南アフリカ、チリの国際コンクールに入賞。チェコ国内のオーケストラとたびたび協演し、またドイツ、オランダ、ベルギー等においてもソリストとして活躍中。

橋本 京子（ピアノ） **Kyoko Hashimoto**

東京生まれ。アムステルダムに住み、欧米を中心に活躍するピアニスト。桐朋学園大学を卒業後、スイスのメニューヒン国際アカデミーに留学。その後、インディアナ大学、ジュリアード音楽院で研鑽を積む。1985年より活動の本拠をヨーロッパに移す。国際フランス音楽コンクール1位大賞と聴衆賞、1980年ブダペスト国際音楽コンクールで最優秀伴奏者賞、1988年にはシュポア国際コンクールでピアニスト賞受賞。定期的にヨーロッパ各地で演奏会を行なう一方、室内楽アンサンブルを主宰し、高い評価を得ている。世界の著名な国際音楽祭に招待されて演奏し、国際コンクール公式伴奏者としても実力が評価されてきた。多くの一流演奏家とも多数共演。現在、演奏活動の傍ら、ユトレヒト音楽大学、プラハ国際室内楽アカデミー、ポーランドのクラコウ・モーツァルトアカデミーにおいて若手演奏家の指導に当たっている。

ヤンバン・チョー（ピアノ） **Young-Bang Cho**

10歳で韓国国内コンクールに優勝。12歳で韓国国立劇場において最初のコンサートを開く。13歳でアメリカに留学し、南イリノイ大学及びピーボディー音楽院にてルース・スレチェンスカに師事。幾つかのコンクールで賞を受けた後、1973年ドイツに移り、ケルン音楽大学でアルフォンス・コンタルスキーに師事。ソリストとして、バルティモア、セントルイス、ブレーメン等々のオーケストラと協演。1977年には、姉のヤンミー、弟のヤンチャンとのピアノ・トリオでジュネーヴ、ミュンヘン両コンクールに入賞している。現在はソロ活動の傍ら、ソウルのダンクク大学の教授を務める。

'98笛吹川国際音楽祭

'98笛吹川国際音楽祭チケット料金表

（全席自由）

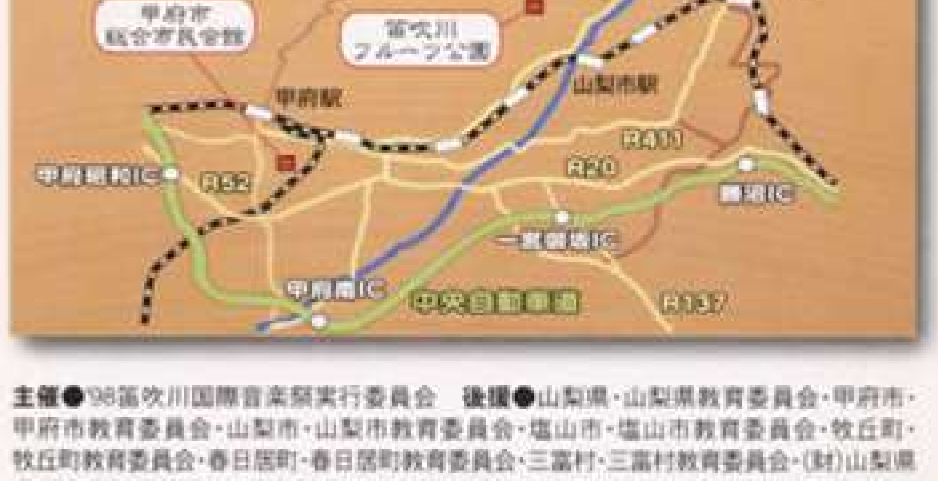
日程	会場	入場料
10月14日（水） 7:00p.m.	笛吹川フルーツ公園 （くだもの広場ステージ）	一般 ¥4,000 学生 ¥3,000
10月17日（土） 6:30p.m.	牧丘町民文化ホール	一般 ¥5,000 学生 ¥4,000
10月18日（日） 6:00p.m.	牧丘町民文化ホール	一般 ¥5,000 学生 ¥4,000
10月21日（水） 7:00p.m.	甲府市総合市民会館 （芸術ホール）	一般 ¥5,000 学生 ¥4,000
4公演フリーパスセット料金		¥14,000

※フリーパスセット券については事務局へお問い合わせ下さい。

【チケット販売】

- ●JR東日本県内各駅
- ●山日YBS情報センター
- ●岡島友の会
- ●牧丘町民文化ホール
- ●笛吹川フルーツ公園管理事務所
- ●山梨県立勤労青年センター
- ●健康堂調剤薬局 各店
- ●実行委員会事務局

会場への、交通のごあんない



※詳しい情報を御希望の方は、下記お問い合わせ先までお願い致します。

主催●'98笛吹川国際音楽祭実行委員会 **後援**●山梨県・山梨県教育委員会・甲府市・甲府市教育委員会・山梨市・山梨市教育委員会・塩山市・塩山市教育委員会・牧丘町・牧丘町教育委員会・春日居町・春日居町教育委員会・三富村・三富村教育委員会・（財）山梨県県民文化振興協会・（財）山梨県公園公社・山梨日日新聞社・読売新聞社甲府支局・朝日新聞社甲府支局・毎日新聞社甲府支局・産経新聞社甲府支局・山梨新報社・共同通信社甲府支局・NHK甲府放送局・山梨放送・テレビ山梨・テレビ朝日甲府支局・FM富士・FM甲府・（財）山梨県青少年協会・山梨県青少年団体連絡協議会・（財）山梨県国際交流協会・山梨YMCA・甲府YWCA・山梨県VYS連絡協議会

協力●日本ベーゼンドルファー Bösendorfer HOTEL春日居 JR東日本 JR

お問い合わせ●実行委員会事務局／〒404-0054 塩山市藤木1883-1（峡東鈑金塗装工業所内）TEL・FAX 0553-33-4090（竹川）／〒405-0048 山梨市切差667-1（桜楓舎）TEL・FAX 0553-23-4675／東京事務局 TEL 03-3807-8831／E-mail : JNMAKENO@futaba-net.or.jp

この音楽祭の情報はインターネット上でもご覧になれます。http://www.freepage.total.co.jp/hasegawa/